

問1 日本の所得税などで採用されている、所得の金額が高くなるにつれて、適用される税率も段階的に高くなる仕組みを何といいますか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 累進課税                      2. 逆進性                      3. 比例税率                      4. 固定資産税

問2 日本の社会保障制度のうち、介護保険制度の仕組みを説明した文として、正しい内容はどれですか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 20歳以上のすべての国民が加入し、老後の生活を保障するために現金を給付する制度である。  
2. 40歳以上の国民が保険料を負担し、介護が必要と認定されたときに、サービス費用の一定割合を自己負担して利用する制度である。  
3. 病気やけがをした際の医療費をすべて国が負担し、国民が無料で医療を受けられるようにする制度である。  
4. 経済的に困窮し、自立した生活が困難なすべての国民に対して、最低限度の生活を保障する制度である。

問3 税金の分類を示した資料において、「国税」かつ「直接税」の枠に該当する所得税の説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 納税者と税を負担する者が同じであり、国に納める税金  
2. 納税者と税を負担する者が異なり、国に納める税金  
3. 納税者と税を負担する者が同じであり、地方公共団体に納める税金  
4. 納税者と税を負担する者が異なり、地方公共団体に納める税金

問4 日本の税制において、税金は「納める先が国か地方公共団体か」という区分と、「税を負担する人と納める人が同じかどうか」という区分によって分類されます。所得税の性質について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2024年 奈良公立入試 類似）

1. 国に対して納める税金であり、税を負担する人と納める人が同一である「直接税」に分類される。  
2. 国に対して納める税金であり、税を負担する人と納める人が異なる「間接税」に分類される。  
3. 地方公共団体に対して納める税金であり、税を負担する人と納める人が同一である「直接税」に分類される。  
4. 地方公共団体に対して納める税金であり、税を負担する人と納める人が異なる「間接税」に分類される。

問5 経済活動の自由を重視し、「小さな政府」を目指す政策をとる際に、政府が市場への介入を減らし、経済の活性化を図るために行う具体的な取り組みとして最も適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 社会保障制度の充実を図り、所得の再分配を強化する  
2. 国営企業や公的な事業の民営化を進め、競争原理を導入する  
3. 所得税の累進課税率を引き上げ、財政規模を拡大させる  
4. 公務員の数を大幅に増やし、きめ細やかな公共サービスを提供する

問6 日本の所得税などに導入されている、所得が高くなるにつれて税率が高くなる税制を何というか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 累進課税                      2. 消費税                      3. 固定資産税                      4. 比例税

問7 2016年度の一般会計予算の歳入において、租税・印紙収入は約59.6%と過半数を占めています。その主要な財源の一つである所得税に導入されている、所得が多い人ほど適用される税率が高くなる制度を何といいますか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. 累進課税制度                      2. 源泉徴収制度                      3. 地方交付税交付金制度                      4. 逆進的課税制度

問8 日本の税制度において、消費税や酒税などのように、税金を納める義務がある「納税者」と、実際にその税を経済的に負担する「担税者」が異なる税金の分類として正しいものはどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 直接税                      2. 間接税                      3. 累進課税                      4. 地方交付税

問9 国が給料などの「所得」に対してかける税金である「所得税」が、直接税に分類されるのはなぜですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 所得が高い人ほど税率が高くなるから  
2. 税金を納める人と負担する人が同じだから  
3. 消費税と同じように全員が同じ額を払うから  
4. 国ではなく住んでいる市町村に納めるから

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>累進課税</b>	所得税は「支払う能力のある人が、より多くの負担をする」という考え方に基づいています。この仕組みにより、高所得者からより多くの税を集め、それを社会保障などを通じて再分配することで、貧富の格差を是正する役割を果たしています。これに対し、所得に関わらず一定の税率をかける仕組みは比例税率と呼ばれます。
問2	<b>答え 2</b> <b>40歳以上の国民が保険料を負担し、介護が必要と認定されたときに、サービス費用の一定割合を自己負担して利用する制度である。</b>	介護保険制度は、自立した生活を支援するために、現金ではなく「サービス（現物給付）」を提供するのが特徴です。加入対象は40歳以上で、保険料と公費（税金）を財源として運営されています。サービス利用時の自己負担額は、所得に応じて1割から3割の間で設定されています。
問3	<b>答え 1</b> <b>納税者と税を負担する者が同じであり、国に納める税金</b>	所得税は、納税義務者（税金を納める人）と担税者（税金を負担する人）が同一である「直接税」としての性質を持っています。また、地方公共団体ではなく国に納める「国税」であることも大きな特徴です。このように税金の性質を組み合わせることで、現代の複雑な租税体系を整理することができます。
問4	<b>答え 1</b> <b>国に対して納める税金であり、税を負担する人と納める人が同一である「直接税」に分類される。</b>	所得税は個人の所得に対して課される税金であり、納付先は国であるため「国税」に該当します。また、税金を実際に負担する人と、その税金を窓口で納める人が一致する仕組みであるため「直接税」に分類されます。これに対し、消費税のように負担者（消費者）と納税者（事業者）が異なるものは「間接税」と呼ばれます。
問5	<b>答え 2</b> <b>国営企業や公的な事業の民営化を進め、競争原理を導入する</b>	「小さな政府」は、政府の役割を最小限にとどめ、経済活動を市場の自由な競争に委ねることで経済成長を促そうとする考え方です。この立場では、公的な事業を民営化して効率性を高めたり、規制を緩和して企業の自由な活動を助けたりします。一方で、社会保障が薄くなるため、経済的格差が拡大しやすいという課題も抱えています。
問6	<b>答え 1</b> <b>累進課税</b>	所得税などに採用されているこの制度は、所得が多い人ほど高い割合の税金を負担する仕組みである。高所得者から多くの税を徴収し、それを社会保障などの財源として支出することで、所得の再分配を行い、社会全体の経済的な格差を調整する役割を果たしている。
問7	<b>答え 1</b> <b>累進課税制度</b>	所得税などで採用されている仕組みで、高額所得者に対してより高い税率を課すことにより、所得の再分配を図り、社会的な格差を是正する役割を持っています。これに対し、所得の低い人ほど負担感が重くなる消費税などの性質は「逆進性」と呼ばれます。
問8	<b>答え 2</b> <b>間接税</b>	消費税などの税金では、消費者が商品の代金とともに税金を支払い（担税者）、事業者がその税金をまとめて国や自治体に納めます（納税者）。このように、税を負担する人と納める人が分離している仕組みを間接税といいます。これに対し、所得税のように納税者と担税者が同じであるものは直接税と呼ばれます。
問9	<b>答え 2</b> <b>税金を納める人と負担する人が同じだから</b>	所得税は、自分で自分の所得に応じた税金を計算し、自分で国に納める仕組みになっているため、税金を納める人と負担する人が一致する「直接税」の代表的な例とされています。